



2025年6月6日

各位

会社名株式会社 ispace
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号: 9348 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL.03-6277-6451)

ミッション2マイルストーンの「Success 9」に関するお知らせ

当社は、Mission 2 “SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON” (以下、「ミッション2」という。) について、ランダーとの通信の回復が見込まれず、月面着陸を確認する Success 9 の完了が困難と判断すると共に、ミッション2の終了を判断いたしましたことをお知らせいたします。

記

1. ミッション2の進捗について (2025年6月6日現在)

当社の RESILIENCE ランダーは、地球から最も離れた距離で約 110 万 km 地点まで到達する深宇宙の旅を経て、近月点 (月に最も近い地点) 高度が約 70km、遠月点 (月に最も遠い地点) 高度が約 5,800km の楕円軌道で月を周回しておりました。その後、全 3 回の軌道制御マヌーバを行い、2025年6月2日にお知らせの通り、Success 8 である、月周回軌道上でのすべての軌道制御マヌーバ (※1) を完了しておりました。そして RESILIENCE ランダーは、高度約 100km の円軌道をおよそ 2 時間ごとに 1 周するペースで航行し、来る月面着陸に備えておりました。

ispace のエンジニアは東京の日本橋にある HAKUTO-R ミッション・コントロール・センター (管制室) から 2025年6月6日 (金) 午前3時13分 (日本時間)、着陸シーケンスの実行を指示するコマンドを送信しました。RESILIENCE ランダーは降下開始のために月周回軌道を離脱、高度約 100km から約 20km まで惰性降下を行なった後、予定通り主エンジンを噴射し、減速を開始しました。ランダーの姿勢がほぼ垂直になったことを確認したものの、その後テレメトリが消失し、着陸予定時刻を過ぎても着陸を示すデータの受信には至りませんでした。

現時点で確認できていることとして、月面との距離を測距するレーザーレンジファインダーにおいて、有効な計測値の取得が遅れ、また予定されていた月面着陸に必要な速度まで十分に減速ができていなかったことが確認されています。これらの状況から、当社のランダーは最終的に月面へハードランディングした可能性が高いと現時点で推測しております。

ランダーからの通信が途絶えたあと、ランダーのリブート (再起動) を試みましたが、通信の再確立に至りませんでした。これを受け、Success 9 “月面着陸の完了” の達成が困難であり、ミッションの終了を判断いたしました。

なお、これらの状況が発生した要因については、現時点ではこれまでに取得されたテレメトリの詳細な解析を実施している状況であり、解析が完了次第ご報告いたします。

また、本日 9 時から、最新情報をご説明させていただくメディア発表会を予定しており、以下のリンクよりどなたでもご視聴いただけます。

名称：	ispace SMBC x HAKUTO-R VENTURE MOON Mission 2 報告会（日本語）
予定日時：	2025 年 6 月 6 日 9 時
配信リンク：	https://youtube.com/live/cdx6fEVPkTw?feature=share

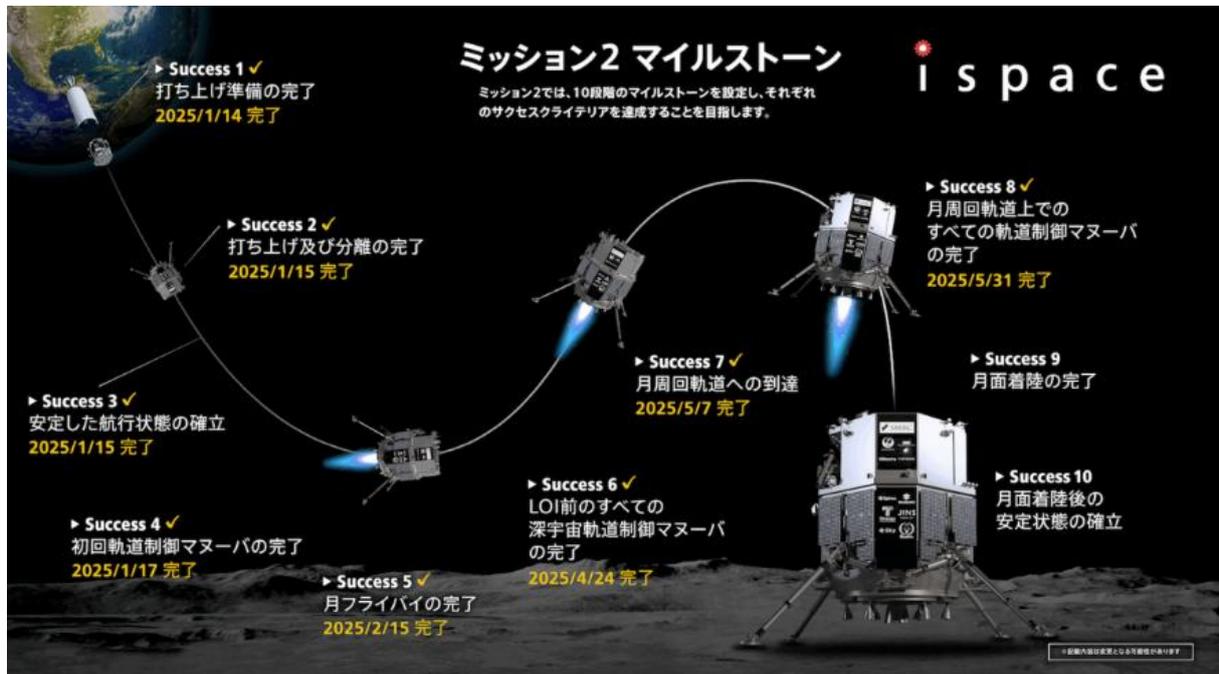
2. 業績への影響について

Success 9 を達成しなかったことから、一部の顧客からの売上を最大で約 238 百万円計上出来ない可能性があります。2026 年 3 月期通期連結業績予想を直ちに修正すべき規模の影響はありません。なお、ミッション 2 で締結していた月保険については、打上げ～高度 100km の月周回円軌道上までの軌道制御確認完了までが保険責任範囲となるため、Success 9 未達は当該範囲に含まれておらず、保険金の受領は見込んでおりません。また、今後、今期業績予想に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

3. 株式会社 ispace 代表取締役 CEO & Founder 袴田 武史のコメント

「現時点では月面着陸完了の見込みがないことから、まずはこれまで取得できているテレメトリの解析を迅速に実施し、原因究明に努めることが責務であると考えています。その上で、従業員とご家族の皆さま、ビジョンに共感し、信じ続けてくれる株主・ペイロードカスタマー・HAKUTO-R パートナー・政府関係者の皆さま、そして ispace を応援してくださるすべての皆さまに遅滞なくご報告し、信頼の回復に努めてまいります。」

4. （ご参考）ミッション 2 のマイルストーン



マイルストーン		完了予定時期	サクセスクライテリア
Success 1 (完了)	打ち上げ準備の完了	打ち上げ 2-3 日前	<ul style="list-style-type: none"> RESILIENCE ランダーすべての開発工程を完了。 打ち上げロケットへの搭載が完了。 世界の多様な地域で柔軟にランダーを組み立てることができる能力の実証。
Success 2 (完了)	打ち上げ及び分離の完了	打ち上げ 1 時間後	<ul style="list-style-type: none"> ロケットからランダーの分離が完了。 ランダーの構造が打ち上げ時の過酷な条件に耐えられること、および設計の妥当性を再確認するとともに、将来の開発・ミッションに向けたデータを収集。
Success 3 (完了)	安定した航行状態の確立	打ち上げ数時間後	<ul style="list-style-type: none"> ランダーと管制室との通信を確立し、姿勢の安定を確認するとともに、軌道上で安定した電源供給を確立。
Success 4 (完了)	初回軌道制御マヌーバ(※1)の完了	打ち上げ 1-2 日後	<ul style="list-style-type: none"> 初回の軌道制御マヌーバを実施し、ランダーを予定軌道へ投入。
Success 5 (完了)	月フライバイ(※2)の完了	打ち上げ 1 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 打ち上げ約 1 ヶ月後に、月フライバイを完了。 深宇宙航行を開始。
Success 6 (完了)	月周回軌道投入(Lunar Orbit Insertion : LOI) 前のすべての深宇宙軌道制御マヌーバの完了	打ち上げ 3-3.5 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 太陽の重力を利用したすべての深宇宙軌道制御マヌーバを完了し、月周回軌道投入マヌーバの準備を完了。 ispace の深宇宙におけるランダー運用能力と、航行軌道計画を再実証。
Success 7 (完了)	月周回軌道への到達	打ち上げ 4 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 最初の月周回軌道投入マヌーバによるランダーの月周回軌道投入の完了。 ランダーとペイロードを月周回軌道に投入する能力を再実証。
Success 8 (完了)	月周回軌道上でのすべての軌道制御マヌーバの完了	打ち上げ 4.5 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 着陸シーケンスの前に計画されているすべての月軌道制御マヌーバを完了。 ランダーが着陸シーケンスの開始準備が出来ていることを実証。
Success 9 (未達)	月面着陸の完了	打ち上げ 4.5 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 月面着陸を完了させ、今後のミッションに向けた着陸能力を実証。
Success 10	月着陸後の安定状態の確立	打ち上げ 4.5 ヶ月後	<ul style="list-style-type: none"> 着陸後の月面での安定した通信と電力確保を確立。

- ※1 マヌーバ：推進システムなどのアクチュエーター（エネルギーを動作に変換する装置）を制御し、宇宙機の姿勢や位置、軌道などを変えること
- ※2 フライバイ：フライバイとは宇宙機が天体の近くを通り過ぎる宇宙飛行のことを指す用語であり、その天体の探査を行ったり、別の目的地に向かうために通過天体の重力を利用して、軌道を変更するための航法の一つ

5. （ご参考）ミッション2の概要

Mission2

ミッション全体像

- ミッション1を通して実証されたハードウェアを再度活用した RESILIENCEランダーを使用
- ミッションの成熟度の向上、月面着陸技術の検証完了を目指す
- 欧州法人が開発したマイクロローバーを初めて実証予定。将来的な月面探査に向けた第一歩
- 月のレゴリスを採取しその所有権をNASAに譲渡する、NASAとの月資源商取引プログラムを実施予定

使用するランダー等

RESILIENCEランダー

サイズ
高さ約2.3m、幅約2.6m
(着陸脚を広げた状態)

重量
約1,000kg (Wet: 燃料装填時)
約340kg (Dry: 無燃料時)

ペイロード積載可能容量
最大30kg



RESILIENCE

TENACIOUSマイクロローバー

デザイン
軽量かつロケット打上げ時等の振動に耐える頑丈性を実現

重量
約5kg

ペイロード積載可能容量
最大1kg



TENACIOUS

ペイロード顧客

<p>総契約金額:</p> <p style="font-size: 2em; color: red;">約\$16MM⁽¹⁾</p>	 <p>Takasago Thermal Engineering</p> <p>水電解装置</p>	 <p>I-Green</p> <p>藻類栽培装置</p>	 <p>BANDAI NAMCO</p> <p>“宇宙世紀憲章”プレート</p>	 <p>ムーンハウス (アート作品)</p>
--	--	--	--	--

(1) 数値は小数点以下切り捨て

以上